

平成 30 年 7 月 6 日  
公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構

2020 年に向けた「アスリートエンゲージメント」と  
「クリーンなスポーツに参加するアスリートの権利」

2018 年度 第 1 回 JADA アスリート委員会

2018 年 6 月 28 日に開催されたアスリート委員会では、「クリーンなアスリートのクリーンなスポーツに参加する権利」を話し合い、Tokyo2020 に向けて日本のアスリートからより広い発信をしていくための施策を出し合いました。

ロシアの一連のアンチ・ドーピング規則違反を発端として、アスリートのクリーンなスポーツに参加する権利の保護が国際的にも課題となっています。2021 年には、『アンチ・ドーピングに係るアスリートの権利憲章 (Anti-Doping Charter for Athlete Rights)』が策定される予定です。JADA アスリート委員会では、より一層活発にアスリート同士が意見交換し、アスリート自身がクリーンなスポーツについて考え、参画する機会の創出を推進してまいります。



【今後のアスリート委員の主な活動】

- 2021 年施行予定の”Anti-Doping Charter for Athlete Rights (アンチ・ドーピングに係るアスリートの権利憲章)”に関する海外アスリートの意見を関係各所へ共有。  
アスリートの立場からの意見とりまとめ及び発信
- 2021 年施行予定の『世界アンチ・ドーピング規程 (改訂版)』と『教育に係る国際基準 (新規)』について、アスリートの立場からの意見とりまとめ
- アスリートに向けたアンチ・ドーピングプログラム等の国内のアンチ・ドーピング教育・啓発活動での JADA との連携
- ドーピング検査員 (DCO) 養成講習会等において、DCO へアスリートの立場からアンチ・ドーピングの意義の発信
- 2018 年 12 月開催予定の「アジア・オセアニア国際アンチ・ドーピング・セミナー」における参画